

●復活後第五主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十六編」

主は来られる、

地を裁くために来られる。

主は世界を正しく裁き

真実をもって諸国の民を裁かれる。



まことの神に聞き従う

シナイ山で神はイスラエルに十戒を授け、更に律法を授けるため、モーセを山に呼ばれました。それ以降モーセが帰って来ない中、民は不安になり、アロンに「我々に先立ち、導いてくれる神を我々のために造ってください」と願いました。一体の若い雄牛の像を作り上げると、民は「これこそあなたをエジプトから導き出した神だ」と宣言し、祭りを行ったのです。

すでに十戒で「あなたはいかなる像も造ってはならない」と命じられていたのに、民は偶像を形造っていたのです。我々を導いてくれる神を礼拝しているから問題ないと思っていたのでしょうか。また不安を解消し、安心しなかったのです。自分の欲求や自分の都合のため、自分のために偶像を造り、祭りを行うことで、心を満たしていたのです。その結果、神を人の手で造つたものにすぎない像に貶めてしまいました。それを神とし、自らを満たすための存在として拝んでいました。それはまことの神への背きでした。

事件の後、幕屋での礼拝が始まりました。しかし神は「イスラエルの家よ。お前たちは荒野の40年の間、わたしにいけにえと供え物をささげたことがあったか」と言われます。表向きには神を礼拝しているようであっても、彼らの心は依然として神以外のものに向いていたことに他なりません。自分のために慕い求めているものがあつたのです。幕屋などの特別な祭儀の道具を見ること、いけにえをささげること、心を満たし、それらが偶像となつていたおそれがあつたと思います。

更にカナンに入った後の民に対して、神は「お前たちは拝むために造つた偶像。モレクの神輿やライファンの星を担ぎ回つたのだ」と言われます。民は神殿で

神を拝みながらも、同時にカナンの神々をも拝んでいたのです。太陽や月や星など、あらゆる被造物を拝んでいました。心が定まらず、自分のために様々なものを神として取り入れていたのです。律法で「カナンの風習、他の神々に従つてはならない」と語られていても、預言者を通して立ち返りを呼びかけられても、一向に偶像から離れませんでした。

イエスキリストが到来した時代、民は律法の言葉を厳格に守り、目に見える像を造らず、異教の教えにも従わず、神殿に赴き、いけにえと供え物をささげ、神を礼拝していました。先祖たちとは違うかのように見えますが、彼らは神の御子イエスを拒んだのです。十字架に追いやられ、殺したのです。その事實は、彼らも神を神として真実に歩んでいなかったことの証しです。表向きは非常に綺麗であつても、内側では自分のために何らかの偶像を造り上げていたことに他なりません。

人は自分の都合を満たすため、欲するものを得るため、願いをかなえるためなど、自分のために偶像を造ります。使徒たちはその本質を見抜いて、教会に対して「貪欲は偶像礼拝に他なりません」と教え、「偶像を避けなさい」との警告もなしたのです。教会であつても、自分の欲求や都合を満たすために、慕い求めるものが偶像となる危険性があることに他なりません。偶像に従つていきますと、神を神として聞き従つて歩むことはできないのです。

神は人のために御子イエスをお与えくださいました。神の言葉を授け、聞き従つて歩むように絶えず招いておられます。教会はまことの神を神として生きたる、神を慕い求めて生きるものたちです。神の言葉から逸れることなく、神の前を真実な心で歩んでいきたいと思

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 本日は、礼拝後全体での集会はありません。

○ コイノニアキャンプのための献金にご協力をお願いいたします。

献金袋は事務所窓口横にご用意しておりますので、ご利用ください。

皆さまのお祈りと献金を通して、コイノニアキャンプをお支えください。

《ぶどうの会より》

ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《ロビーの会より》

本日の主日礼拝後、ロビーでコーヒーサービスを行います。ホットコーヒーとお菓子を七〇円で販売します。どうぞお越しください。

《ルツの会より》

主日礼拝終了一五分後からカナンルームでルツの会を行います。民数記一〜二章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十六篇】

新しい歌を主に向かつて歌え。

全地よ、主に向かつて歌え。

主に向かつて歌い、御名をたたえよ。

日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

国々に主の栄光を語り伝えよ

諸国の民にその驚くべき御業を。

大いなる主、大いに賛美される主

神々を超えて、最も畏るべき方。

諸国の民の神々はすべてむなし。

主は天を造られ

御前には栄光と輝きがあり

聖所には力と光輝がある。

諸国の民よ、こぞつて主に帰せよ

栄光と力を主に帰せよ。

御名の栄光を主に帰せよ。

供え物を携えて神の庭に入り

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。

全地よ、御前におののけ。

国々にふれて言え、主こそ王と。

世界は固く据えられ、

決して揺らぐことがない。

主は諸国の民を公平に裁かれる。

天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ

海とそこに満ちるものよ、とどろけ

野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め

森の木々よ、共に喜び歌え

主を迎えて。

主は来られる、地を裁くために来られる。

〔司・会〕

主は世界を正しく裁き

真実をもって諸国の民を裁かれる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「賜物を与えてくださる神」

聖書 マタイ25章14〜29節

説教者 宮間 彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「自分の行いに応じて裁かれる神」

聖書 黙示録20章11節〜21章4節

説教者 宮間 彰広兄

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

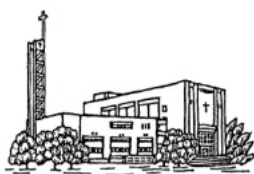
讃美歌 159番 168番

説教 「キリストは天におられて」

聖書 使徒1章6〜11節

ヨハネ14章1〜6節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 156番 279番
説教 「知恵を得るために」
聖書 ヤコブ1章5～11節(新約 P.421)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「主は死の鎖につながれ」 G.ペーラム

○讃美歌156番

- 1.主は活きたもう 死ははや敗れて
いのちのかどは 今しもひらかる ハレルヤ
 - 2.主はいきたもう みまもりうくれば
世も死も陰府も わが身をうばわじ ハレルヤ
 - 3.主はいきたもう あめつちこぞりて
主の主とあがめ きみとしたたえよ ハレルヤ
 - 4.主はいきたもう みくにのやすきと
つきせぬいのちは うくるぞうれしき ハレルヤ
- アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「主は生きておられる」 ウィリアム.J.ゲイサー 作曲
主イエスと呼びまつる 御神のひとり子
空しい墓こそが 救いの御業 証(あかし)する
確かに生きておられる
おそれは 消え去り 御力与えたもう
よみがえりの主 仰ぐとき
いつの日か 河を渡り
最後の戦いに 勝利を得させたもう
今も 主 生きておられるから
主が生きておられるから
明日に目を向け 望みに満たされ
われらも生きる 主とともに
ハレルヤ ハレルヤ

○讃美歌279番

- 1.世のほこる 知恵とさとのの
頼りがたきを 知らしめたまえ
月かげの 青きより澄みて
わが魂に そそがせたまえ まことのひかり
 - 2.世のしたう 愛となさけの
移り易きを さとらせたまえ
あかつきの ひかりより清く
わが魂に みたしめたまえ とこしえの愛
 - 3.主にありて 生くるわが身の
きよき喜び うたわせたまえ
真理 愛 いのちも望みも
主よりいずれば あおがせたまえ イエス・キリストを
- アーメン

聖餐曲「主はわが飼い主」 D.ウェット

後奏曲「ヴォランタリー」 G.F.ヘンデル